

# 大阪カジノ誘致問う住民投票署名20万人分本提出

もとめる会

「カジノの是非は府民が決める。住民投票をもとめる会」は6日、大阪府庁で記者会見し、維新の大坂府・

大阪市政が進めるカジノを中心とする統合型リゾート（TR）誘致の是非を問う住民投票の実施を求める署名が

20万8000人分（5日現在、概数）に達し、府内72市町村の選挙管理委員会への本提出

（藤井寺市は3日提出）が6日中に完了すると発表しました。

会見には、「もとめる会」共同代表の中野

雅司氏（浪速産業代表取締役）、大垣さんゑ

氏（作家）、西澤信善氏（神戸大学名誉教授）、「もとめる会」事務局長の山川義保氏が出席しました。

大阪府内全域で住民投票条例制定を求める直接請求が取り組まれたのは45年ぶりのことです。住民投票を知事に直接請求するため

必要な法定数は、有権者の50分の1に当たる約15万人です。

会見では、72市町村

村のうち54市町村

（75%）が法定数を突破

したと報告。今後の日程を考慮して、署名活動期間が62日間に満た

ない豊中、河内長野、泉

佐野、泉州の4市は、

参院選後の署名収集活

動をとりやめることを明瞭化しました。

中野氏は「大阪をカ

ジノで破綻させていい

のか。実際に20万人分

集まつたことを行政は

真摯（しんし）に受け

止めるべき」だとして

住民投票の実施を強く

求めました。



会見する（左から）山川、大垣、西澤、中野の各氏＝6日、大阪府庁

20万8000人分（5日現在、概数）に達し、府内72市町村の選挙管理委員会への本提出（藤井寺市は3日提出）が6日中に完了すると発表しました。

会見には、「もとめる会」共同代表の中野雅司氏（浪速産業代表取締役）、大垣さんゑ氏（作家）、西澤信善氏（神戸大学名誉教授）、「もとめる会」事務局長の山川義保氏が出席しました。

大阪府内全域で住民投票条例制定を求める直接請求が取り組まれたのは45年ぶりのことです。住民投票を知事に直接請求するため